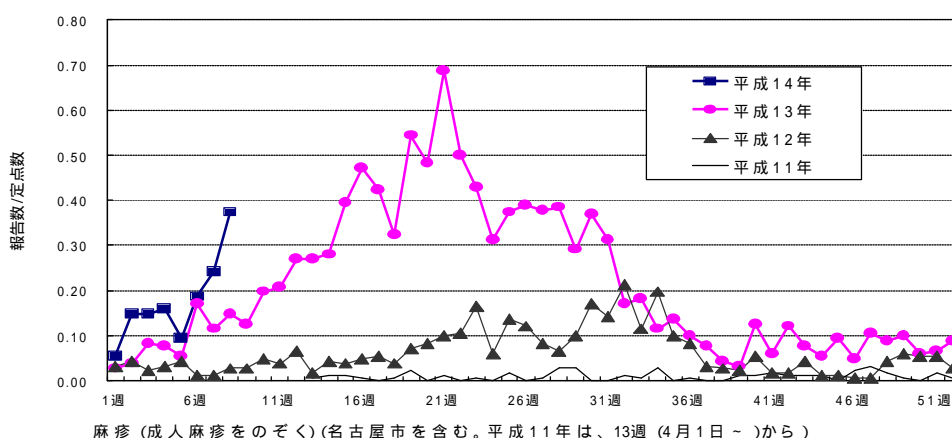


# 愛知県感染症情報

## 平成 14 年第 8 週（2 月第 3 週）

（コメント）

インフルエンザは、依然流行中ですので注意してください。麻疹は流行してきました。麻疹の予防方法等については、愛知県衛生研究所のホームページ（<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/>）をご覧ください。



（定点の先生方からのコメント）

- 尾張西部地区
  - ・ インフルエンザ減ってきました（A型4人、B型8人）。年長児のB型は比較的軽く吐き気などの胃腸症状が目立ちます。  
（一宮市 あさのこどもクリニック）
  - ・ 11歳女 マイコプラズマ肺炎（弟より感染）。インフルエンザ26名、内B型6名この中にA型同時感染3名。ワクチン接種者でA型、B型各1名感染。  
（一宮市 後藤小児科）
  - ・ 病原性大腸菌感染者 O1（9歳男、8歳女、10歳男、30歳女、11歳男、37歳女）、O18（11ヶ月男、2歳女、8歳男、9歳女、2歳男、25歳女、4歳女）。カンピロバクター（2歳女、5歳女）。病原性大腸菌による食中毒が増加していますが、家族内発症が2例あり感染源は明らかではありません。  
（尾西市 城後小児科）
  - ・ インフルエンザAはワクチン済 3歳男  
（一宮市 平谷小児科）

- ・ 今年の冬は、去年の冬に多かった肺炎球菌が少なく、H I（インフルエンザ菌）が多かったです。インフルエンザの検出キットが入手不能となりました。

（犬山市 武内医院）
- ・ インフルエンザはピークは過ぎていますが、まだ続いています。A型 20例、B型 123例です。今までなかった幼稚園、保育園で発生しています。今週になって胃腸炎が増え、点滴する例が目立ってきました。

（岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック）
- ・ 嘔吐、発熱を伴う感染性胃腸炎が急増してきました。インフルエンザはやや減少傾向です。

（江南市 みやぐちこどもクリニック）
- ・ インフルエンザはまだ下火になりません

（江南市 河野小児科）
- ・ 7ヶ月女、8ヶ月男、11ヶ月男 2名、12ヶ月男 3名、1歳2ヵ月女、1歳8ヶ月男、1歳10ヶ月男、2歳3ヶ月男 2名、2歳4ヶ月男、以上13名ロタウイルス陽性でした。

（春日町 丹羽医院）
- ・ マイコプラズマ 14歳男、カンピロバクター 27歳男。

（師勝町 師勝クリニック）
- 尾張東部地区
- ・ インフルエンザはB型が多くみられます。マイコプラズマ肺炎も相変わらずです（6歳女、7歳男、8歳男2名、13歳男）。

（瀬戸市 津田こどもクリニック）
- ・ インフルエンザ流行続いています。圧倒的にB型が多いようです。（幼児、学童はタミフル\*投与せず対症療法のみですが、ほとんどの症例が全身状態良好で2～3日の発熱で終わるようです）。3ヶ月の乳児でのA型あり。経過は良好。マイコプラズマ感染もまだ流行続いており、B型インフルエンザとの混合感染例もありました。その他溶連菌感染症、水痘が少し目立ちました。

（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）

タミフル\*：A・B型インフルエンザ治療薬
- ・ 生後16日の新生児、母と一緒に麻疹発症。2月20日過ぎよりインフルエンザ激減、代わりに麻疹急増。

（美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院）
- ・ ロタ胃腸炎多くなりました。A型インフルエンザ20例、B型インフルエンザ12例、A・Bとも陽性2例でした。

(春日井市 朝宮こどもクリニック)

- ・ 今週もインフルエンザが多数流行しています。インフルエンザ A 抗原が多いですが、B 抗原 (+) も少しみられます。ロタウイルス (+) の感染性胃腸炎もみられます。

(春日井市 かちがわ北病院)

- ・ インフルエンザ多し (A も B も)。ロタ胃腸炎入院例あり。

(小牧市 小牧市民病院)

- ・ インフルエンザの流行が続いています。

(小牧市 志水こどもクリニック)

- ・ インフルエンザが多いです。

(小牧市 医療法人心匠会鈴木小児科)

● 西三河地区

- ・ マイコプラズマ肺炎 (2 歳女、12 歳女)。病原性大腸菌 (O1 1 歳男、O124 と O25 5 歳男、O25 1 歳男)

A 型インフルエンザ 8 名 B 型インフルエンザ 10 名

(豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック)

- ・ A 型インフルエンザ 4 名

(豊田市 医療法人やふそ小児科)

- ・ インフルエンザ 21 名はすべてインフル A・B クイック\* で陽性。

A 型 4 名、B 型 17 名。B 型 2 名はワクチン 2 回接種

(岡崎市 小児科延寿堂杉浦医院)

インフル A・B クイック\* : A 型及び B 型インフルエンザウイルスを検出する迅速診断キットの一種。

- ・ 麻疹兄弟例 (ワクチン未接種) 下の子は入院。インフルエンザは A : B = 2 : 1 の比率です。

(岡崎市 花田こどもクリニック)

- ・ 麻疹 3 歳女ワクチン接種済み (H12.1.11 ME - 09) 4 歳女ワクチン接種済み (H10.7.1 ME - 03)。1 歳女ワクチン未接種

(岡崎市 竜美ヶ丘小児科スズキ医院)

- ・ B 型インフルエンザ 24 人 (全体の 2 分の 1)、A と B 1 人  
病原性大腸菌 O20 VT (-) 2 歳男、O1 VT (-) 4 歳男

(岡崎市 にいのみ小児科)

- ・ 麻疹の 5 例はすべて兄弟、同居例 (麻疹ワクチン未接種)。インフルエンザの半数は B 型。異型肺炎 2 名 (6 歳男、女)。乳児嘔吐下痢症 (ロタウイルス) 2 名 (8 ヶ月、1 歳男)

(岡崎市 医療法人川島小児科水野病院)

- ・ 診断キットにて判定したインフルエンザ 42 名中、A 25 名、B 13

名、型区別なし4名でした。相変わらず、60歳以上の患者は出ていません。

(岡崎市 栗屋医院)

- ・ インフル A・B クイック A (+) 6名(2名親子、2名兄弟うち1名ワクチン1回接種)。インフル A・B クイック B (+) 8名(1名親子ワクチン2回接種、1名兄弟)

(岡崎市 医療法人永坂内科医院)

- ・ キャピリア FluA・B\* にて診断 Aが4人、Bが2人
- (岡崎市 村山医院)

キャピリア FluA・B\* : A・B型インフルエンザウイルスを同時に検出する迅速診断キットの一種。

- ・ インフルエンザ 今週は、診断キットの入手ができないため、21例すべて臨床診断のみです。ロタ (+) 1例。麻疹1例は、ワクチン未接種です。

(刈谷市 田和小児科医院)

- ・ インフルエンザはだいぶ減ってきました。麻疹の散発がみられません。

(刈谷市 まついこどもクリニック)

- ・ インフルエンザの峠は越しましたが、まだ続いています。

(碧南市 永井小児クリニック)

- ・ インフルエンザ減少(A1名、B1名)、感染性胃腸炎が増加(嘔吐のみが多い)。

(西尾市 やすい小児科)

- ・ インフルエンザ7名(A・BクイックにてA4名、B3名)と、インフルエンザ様疾患とも減少傾向です。

(西尾市 山岸クリニック)

#### ● 東三河地区

- ・ インフルエンザはB型が大部分を占めるようになってきました。(全てキャピリア FluBで確認済み)ムンプスの発症が目立つようになってきました。

(豊橋市 あずまだこどもクリニック)

- ・ インフルエンザが流行中です(流行の主体がB型にかわりました)。

(豊橋市 こどもの国大谷小児科)

- ・ マイコプラズマ肺炎2例。インフルエンザ様のかぜが学童児中心に今週も目立っています。

(田原町 かわせ小児科)

( 1～3類感染症の発生状況 )

腸管出血性大腸菌感染症患者 2 名

- ・ 豊田市保健所から報告の 2 歳女。2/10 発病、2/13 初診、2/18 診定。  
菌型は、O157 VT2 (+)。
- ・ 津島保健所から報告の 19 歳女。2/14 発病、2/16 初診、2/21 診定。  
菌型は、O157 VT1・2 (+)。ハワイ渡航歴あり。

( 全数把握の 4 類感染症の発生状況 )

HIV 感染症 ( 無症候性キャリア ) 1 名。

アメーバ赤痢患者 1 名。

クロイツフェルト・ヤコブ病患者 1 名。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症患者 1 名。

◆ 病原体検出情報

平成 14 年 2 月 27 日現在、県衛生研究所に搬入された 144 検体から、A ソ連型インフルエンザウイルス 31 株、A 香港型インフルエンザウイルス 39 株、B 型インフルエンザウイルス 38 株が分離されており、3 種類のウイルスによる混合流行と考えられます。また集団発生については豊橋市保健所管内からは A 香港型が、豊田市、一宮、半田、豊川、岡崎保健所管内からは B 型が分離されており、学童の集団発生は B 型が主流と考えられます。抗原性は A ソ連型と A 香港型はワクチン株と類似していましたが、B 型は春日井保健所管内で分離された 1 株はワクチン株と類似していましたが、残りは全てワクチン株とは異なるビクトリアタイプでした。

インフルエンザ月別分離数

発生動向調査	12月	1月	2月	合計
患者数	13	93	38	144
Aソ連型		27	4	31
A香港型	1	26	12	39
B型	1	26	11	38
集団発生	12月	1月	2月	合計
患者数		18	40	58
Aソ連型				0
A香港型		5	1	6
B型		7	14	21

インフルエンザ保健所別分離数

発生動向調査	Aソ連型	A香港型	B型
衛研	3	1	1
一宮	8	6	6
稲沢	1	12	
江南	2	5	
春日井	4	9	12
津島	3		2
半田	6		10
知多			2
刈谷	1	1	2
岡崎			1
豊田市	1	4	1
豊川	2	1	1
集団発生	Aソ連型	A香港型	B型
豊田市 1/22			7
豊橋市 1/22		5	
一宮 2/6		1	6
半田 2/6			1
豊川 2/12			2
岡崎 2/19			5

第6週（14年2月4日～2月10日）の4類感染症の全国状況

インフルエンザは九州地方、東海地方、関東地方で定点当たり報告数が増えている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎は、過去5年間の同時期と比較して定点当たり報告数が増えている。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は山形県で定点当たり報告数5.3と増えている。感染性胃腸炎は福井県（定点当たり報告数19.6）、宮城県（18.5）、山形県（18.3）、大分県（17.3）、香川県（17.2）などで報告が増えている。伝染性紅斑は例年に比べ報告数が増え、秋田県では定点当たり2.9の報告がある。流行性耳下腺炎は2001年第19週よりここ10年間で最大の定点当たり報告数が持続しており、2002年も年初より報告数が増え、とくに沖縄県（定点当たり5.2）富山県（4.2）などで報告が増えている。

（Infectious Diseases Weekly Reportより抜粋）

厚生労働省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供）

2002 年 1 月 1 8 日号 ( 7 7 巻 3 号 )

皮膚ライシユマニア症：パキスタン。パキスタン北西辺境州から報告。738 例の皮膚ライシユマニア症発症。大多数は 1 5 歳以下。パキスタン移住難民全体では 1、500 例の報告が W H O に届いている。

レブラ ( 本邦ではハンセン病が一般的ですが W H O の表記によりレブラとします ) の世界の根絶計画 ( Leprosy elimination campaigns, LECs ) 状況。多剤同時投与 ( Multidrug therapy, MDT ) の導入の結果、途上国各地区の発生頻度減少が著明である。地域保健活動、特に地域保健担当者と地域住民の共同作業が今後も重要であるが本報では世界最大の常在地区であるインド北部～中央部 5 州 ( 人口 10 万あたり 20 - 86 例 )、ブラジル ( 97 例 )、ガ - ナ ( 10 例 )、マダガスカル ( 24 例 )、モザンビ - ク ( 12 例 ) に関する最近の状況がまとめられている。

インフルエンザ：02 年 1 月。ベルギー - ( 多数の A 型と少数の B 型 )、フランス ( A 型 H 3 N 2 と B 型 )、スペイン ( A 型 )。

麻疹根絶：南北アメリカ。9 4 年、W H O アメリカ地区は麻疹撲滅計画を発足、0 0 年末の麻疹発生状況は 9 9 % 以上の減少がみられ、アルゼンチン、ブラジル、ボリビア、ドミニカ、ハイチだけとなり、0 0 年以降はドミニカ、ハイチ、ベネズエラの 3 国だけとなっている。本報はこれら各国の状況の概略である。

2002 年 1 月 2 5 日号 ( 7 7 巻 4 号 )

髄膜球菌髄膜炎：ソマリア。1 月 1 6 日時点で同国保健省に 144 例 ( 死亡 3 3 例 ) が保健省に報告されている。血清型は W H O の検査で A 型。集団予防接種を準備中。

野兎病：コソボ共和国。1 月 1 7 日までに 282 例の疑似例 ( 59 例確定 ) の報告があり、死亡例ゼロ。年齢分布は 1 6 - 4 4 歳。

黄熱病：セネガル。1 月 1 8 日時点で 1 8 例。全例ダカ - ルのパスツ - ル研究所で確認され、発生地区のワクチン集団接種実施中。

南ス - ダンの緊急事態に対する対応：人口 54 万を抱える南ス - ダンでは繰り返される難民移住、部族間の紛争、洪水と旱魃による飢餓、感染症の大発生などで国全体の危機的状況が発生している。W H O とユニセフは N G O、国際赤十字などの協力のもとに 9 8 年、9 9 年から作戦を開始、ここではその状況が報告されている。

インフルエンザ：02 年 1 月。オ - ストラリア：A 型 ( H 3 N 2 )、オ - ストリア：( A 型 )、フランス：A ( H 3 N 2 ) 主体、イスラエル：A ( H 3 N 2 と H 1 N 1 )、イタリア：A ( H 3 N 2 ) と B 型、ロシア：A ( H 3 N 2 と H 1 N 1 )、と B 型、スペイン：A 型と B 型、英国：A ( H 3 N 2 ) 型。

日溜まりではクロッカスの黄色な蒼が膨らみはじめています。もう2月も過ぎようとしています。風は相変わらず冷たいのですが。今回もいつものように貴重な情報を有難うございます。1月後半～2月前半のまとめをお送りします。

1.名古屋地区：インフルエンザが市内学区単位で発生していますが全市的な特定の型の大発生の傾向はなく、A型とB型の混合流行地区が多く、衛生研究所の検査結果からも特別な変異株ではないようです。A型の方がやや年少児に多い傾向があるようです。ほぼ全例がワクチン未接種で症状はAとBに差はなく、地域によっては高熱、痙攣などの入院例もありますが今年の流行が特に重症例が多いという印象はないようです。また、インフルエンザ様疾患で他のウイルスによる例が混在しているようです（第一日赤有吉先生、名鉄病院宮津先生、第二日赤岩佐先生、城北病院渡辺先生、千種区今枝先生、三菱病院岩間先生、中京病院柴田先生、労災病院山田先生、大同病院水野先生）。ウイルス性嘔吐下痢症が全市的に流行していてロタウイルス陽性例と陰性例があり腹痛と嘔吐が主体で時に発熱があり、乳幼児・学童主体、脱水で要入院例もありますが全体には軽症が多いようです。（第一日赤有吉先生、第二日赤岩佐先生、城北・渡辺先生、千種区今枝先生、三菱病院岩間先生、中京病院柴田先生、労災・山田先生、大同・水野先生）。その他の気道感染症としてはマイコプラズマを含む肺炎、RSウイルス感染症、高熱を伴う咽頭炎・気管支炎などが発生しています（第一日赤有吉先生、城北・渡辺先生、三菱・岩間先生、労災・山田先生）。麻疹の報告を第一日赤有吉先生、労災・山田先生、大同・水野先生からいただいています。流行期をひかえて要注意です。その他溶連菌感染症、水痘、ムンプスが全市的に散発中です。

2.尾張地区：犬山市武内先生からは感染性胃腸炎がやや多く水痘とインフルエンザA、Bが多発、江南市昭和病院西村先生からは溶連菌感染症、ロタウイルス感染症、インフルエンザA（H3N2）、常滑市民病院上田先生からはインフルエンザ大流行中でB型が多く、ロタウイルス感染症を含むウイルス性胃腸炎、RSウイルスによる細気管支炎、マイコプラ溶連菌感染症、ヘルペス口内炎、水痘が目立ち、麻疹流行中とのお手紙です。

3.三河地区：トヨタ病院木戸先生からはインフルエンザA、B、RSウイルス、ロタウイルスが多くそれにつれて各疾患による入院や熱性痙攣目立つ、岡崎市民病院系洲先生からはインフルエンザ多発中、安城更生病院小川先生からはインフルエンザ多発中で入院例目立つ、知立市近藤先生からはインフルエンザの流行（A、B型ほぼ同じかBがやや多くワクチン接種者の発病はBに多い）、マイコプラズマ感染症、病原性大腸菌（O6）1例あり、刈谷市田和先生からはインフルエンザ多発中で始めはA型、その後B型増加、両方に陽性の例あり、感染性胃腸炎による嘔吐・下痢ぼつぼつ、碧南市永井先生からはB型が主体のインフルエンザ流行中でロタウイルス腸炎も増加、豊橋市からはマイコプラズマ肺炎、ウイルス性気管支炎目立つとのお手紙でした（市内宮澤先生、長屋先生）。有難うございました。







愛知県感染症情報

2002年第1週～第8週(平成13年12月31日～平成14年2月24日)(累計)

愛知県衛生研究所

愛知県	定点数					インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風疹	ヘルパンギーナ	麻疹	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	急性脳炎 (日本脳炎を除く)	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	成人麻疹
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	191	182	35	51	13	27,151	43	1,267	8,748	2,349	168	304	832	14	13	32	256	1,529	3	186	0	1	0	20	0	0
総数 (名古屋市は除く)	121	112	24	37	12	21,298	35	914	5,724	1,787	127	227	617	10	11	22	215	1,288	2	129	0	1	0	20	0	0
名古屋	名古屋	70	70	11	14	1	5,853	8	353	3,024	562	41	77	215	4	2	10	41	241	1	57					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	1,603	3	170	301	122	7	9	38		2	5	5	67	1	6					
海部	津島	7	7	2	2	1	975		14	466	109	1	7	30			4	70		9						
尾張中部	師勝	4	4	1	1		522		11	420	37		1	15		1	1	6	6		4					
尾張西部	一宮	12	8	2	3	1	942		90	550	139	2	9	50			13	37	1	5						
	稲沢	4	4	1	1		634		27	284	81	1	13	22	2	1		47	15		1					
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1	1,229		100	318	202	28	54	56	2	1	3	14	41		5					
	江南	6	6	1	2		1,406	14	73	379	135	2	12	14			1	11	39		5					
知多半島	半田	6	6	1	2	1	1,243	2	34	222	41	4	9	14			1	26	41							
	知多	7	7	2	2		1,953	4	19	317	60	20	18	45	3	2		10	51							
西三河南部	岡崎	12	8	2	3	1	2,239	1	105	23	225	20	34	85	2	1	4	25	216		48					
	刈谷	6	6	1	2	1	1,267	2	67	75	106	6	7	32			1	14	12				1			
	安城	5	5	1	2		1,442		31	369	76	10	7	21				18	43		5					
	西尾	4	4	1	1	1	205		17	228	28		2	18			1	1		20		16		1		
西三河北部	豊田市	8	8	2	3	1	1,143	6	30	291	81	19	22	53	1			7	146		8			7		
	足助	3	3		1		295		7	111	21		7	21				1	28							
東三河南部	豊橋市	8	8	2	4	1	2,314	2	82	720	198	4	7	59			14	280		17		1		8		
	豊川	7	6	1	2	1	1,587	1	34	599	75	2	9	32			7	146					3			
	田原	2	2				245		3	51	30			10					5							
東三河北部	新城	2	2			1	54				21	1						25								

